昭和42年5月12日第三種郵便物認可　第１７０８４号　（日刊）

2020年（令和2年）
6月29日　月曜日

© 朝日学生新聞社
〒104-8433　東京都中央区築地 5-3-2　朝日新聞社新館 9 階
電話 03-3545-5223（広報）　03-3545-5222（編集）
購読申し込み 0120-415843　ウェブサイト www.asagaku.com

朝日小学生新聞

2面 小児科医のしごと
3面 4コマ　戦国野菜
6面 走った順番は？ ひらめき！
7面 まんが　八犬伝

ピックアップ
弁護士って何するの？
3面
平井貴之さん本人提供

見るみるわかる！ あばれる水をコントロール

荒川（埼玉・東京）をイメージ
グラフィック・菊池 桃（朝日新聞メディアプロダクション）

7月から10月にかけて、台風が日本に接近したり上陸したりすることが多くなる「台風シーズン」です。川には大雨で水が増えてもあふれないように守る「治水施設」があります。どんな工夫があるか、見てみましょう。　（構成・小貫友里）

巨大台風で堤防こわれ大被害

近年、毎年のように大雨などによる災害が発生しています。

去年10月、過去最強クラスの台風19号が日本列島に上陸しました。東日本の広い範囲で大雨となり、川があふれるなどして、死者・行方不明者は約100人にのぼりました。約140か所の堤防がこわれ、千曲川（長野市）や、阿武隈川（福島県須賀川市ほか）などで建物や道路が水につかる被害がありました。

一方この時、「首都圏外郭放水路」（埼玉県春日部市）や「荒川第一調節池」（さいたま市から埼玉県戸田市）といった水を流したり、一時的にためたりする施設により、洪水を防いだ場所もありました。

気候変動が進み、今後大きな台風が増えると考えられています。短時間にせまい範囲でとても激しく降る雨、ゲリラ豪雨も増えています。治水施設の整備とともに、みんなで安全に避難するための工夫も必要です。

災害を防ぐ治水施設を整備／身を守る工夫も必要

川は生活や農業、工業などさまざまに使われ、私たちの暮らしを支えています。しかし洪水になると大被害をもたらします。そこで、水の量をコントロールして、被害を防ぐ「治水」が重要です。

東京都と埼玉県を流れる荒川を管理する荒川下流河川事務所・副所長の辻勝浩さん（52歳）に、治水施設について聞きました。

辻さんたちは24時間、川の状況を見張っています。川があふれないように、事前に話しあい、計画にそって、ダム、調節池、水門、排水機場などの治水施設を使って洪水を防ぎます。

上流で大雨が降ったらまずダムに水をためます。中流で川の水が増えたら、調節池を開けて水をためます。支流と本流の水位を見て、本流の水が支流を逆流しそうなときは、水門をとじます。支流の水位を見ながら排水機場も使います。水が増えてもあふれないように堤防を整備します。早く海まで水を流せるように放水路を整えます。

近年これまでにない規模の大雨や台風が起きています。行政は、今よりももっと雨の量が増えても安全なように、治水設備の整備を進めています。

荒川など人口の多い地域の川の周りには、堤防の高さにあわせて地域一帯を盛り土し、より強い「高規格堤防」もつくっています。

「施設の整備はこれからも行っていきます。しかし残念ながら『絶対に洪水が起きない』とはいえません。みなさんも災害に備え、危険を知り、情報の集め方や、避難の仕方など、身を守る方法を考えてほしい」と辻さんは話します。

調べよう

身近な川について、水害の歴史や、どんな治水の工夫をしているか調べてみよう。

泉　昭二
16254

いつも、最初にジャンケンポンを読んでいます！ジャンがツッコミを入れるところが好きです！
（神奈川県・３年）

最新刊
言葉屋❽
だんだん階段でまちあわせ
久米絵美里・作　もとやままさこ・絵
「危機を救うのは言葉かもしれない」
環境の変化にとまどう中3の詠子。さまざまな「差」が生む問題と向き合い、気づきます
本体価格 1200円＋税
お試し読みはこちら➡➡
朝日学生新聞社 www.asagaku.jp

第14回「いつもありがとう」作文コンクール
言葉ではいえない家族への感謝の気持ちを作文に書いてみよう
【「いつもありがとう」作文コンクール 特設ウェブサイト】
https://sinanengroup.co.jp/sakubun/
■募集テーマ／いつもお世話になっている家族に対し、普段言葉ではなかなかいえない感謝の気持ちを作文に書いて応募してください。例）「お母さんありがとう」「大好きなお父さんへ」「私のお兄ちゃん」… など
■応募方法／400字詰め原稿用紙1～3枚まで。作品の裏に応募者の郵便番号・住所・氏名・電話番号・学校名（所在地・電話番号）・学年・年齢・当コンクールを知ったきっかけを明記してください。
◎応募作品は返却しません。◎作品は必ず自分で書いたもので、未発表のものに限ります。
◎一人何点応募しても結構です。◎海外からも受け付けます。
■応募資格／全国の小学生　■応募締切／2020年9月10日(木)必着
■応募宛先／〒104-0028 東京都中央区八重洲2-1-6 八重洲kビル7F「いつもありがとう」作文コンクール事務局
■お問い合わせ／電話03-3545-5226　受付時間10時～18時（土・日・祝日を除く）
■入賞発表／2020年11月27日(金) 朝日小学生新聞紙上・「いつもありがとう」作文コンクール特設ウェブサイトで発表予定
※ご応募に関する注意事項／コンクールの審査結果に関わらず、応募作品に関する所有権、著作権等の権利は、主催者側に帰属するものとし、それらを広告宣伝等の目的でシナネンホールディングスグループ及び朝日学生新聞社の広告や印刷物、ホームページ等に使わせていただく場合があります。※個人情報に関する注意事項／お客様からいただいた個人情報は、賞品等の発送、シナネンホールディングスグループ及び朝日学生新聞社の広告宣伝等のための広告や印刷物、ホームページ等への応募作品の掲載のためにのみ利用させていただきます。また、当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合を除き、個人情報をお客様の承諾なく第三者に提供いたしません。
■審査員（敬称略）
作家 あさの あつこ
気象予報士 森田 正光
フリーアナウンサー 小島 奈津子
シナネンホールディングス株式会社 山崎 正毅
朝日小学生新聞 別府 薫
■賞
最優秀賞……1作品　賞状・副賞として図書カード 5万円分
シナネン賞……1作品　賞状・副賞として図書カード 3万円分
ミライフ賞……1作品　賞状・副賞として図書カード 3万円分
朝日小学生新聞賞……1作品　賞状・副賞として図書カード 3万円分
優秀賞…低学年の部 3作品／高学年の部 3作品　賞状・副賞として図書カード 2万円分
◎最優秀賞～優秀賞の受賞者と保護者を11月28日(土)東京で行われる表彰式にご招待します。
※新型コロナウイルス感染への対応のため、表彰式の実施方法を変更する可能性があります。
入選…低学年の部 7作品／高学年の部 7作品　賞状・副賞として図書カード 5千円分
佳作…低学年の部 10作品／高学年の部 10作品　賞状・副賞として図書カード 3千円分
団体賞「北海道・東北」「関東・甲信越」「中部・関西」「中国・四国」「九州・沖縄」の5ブロックから選出……賞状・副賞として図書カード 5万円分
主催：シナネンホールディングスグループ　朝日学生新聞社　後援：文部科学省　朝日新聞社
人とエネルギー、住まいと暮らしのあいだに。SINANEN
【シナネンホールディングスグループ】シナネンホールディングス ミライフ西日本 ミライフ ミライフ東日本 日高都市ガス シナネン シナネンサイクル シナネンモビリティ+ シナネンエコワーク シナネンゼオミック ミノス タカラビルメン インデス ユテックス シナネンファシリティーズ シナネンブラジル